

配布日時

2010年12月10日(金)14:00

各 位

国際物流戦略チーム
関空国際物流効率化推進協議会

関西国際空港の貨物便就航路線ニーズ調査結果について

関西国際空港の航空物流ネットワークは、2008年後半よりの世界不況の影響を受けて一時的ながら減便基調に入りましたが、本年春以降より貨物便の新規就航・増便が実施され、昨年度実施した同調査の結果として要望の多かった欧米路線も含めて計約30便ものネットワークが増加し、貨物取扱量についても不況前のレベルに概ね回復するに至っております。

しかしながら、深刻な円高の影響の中、首都圏空港への便や路線の集約から関西国際空港の貨物便ネットワークについては関西圏に事業拠点を置く企業のグローバルな生産・販売活動に充分に対応しきれていない面も存在しており、国際貨物便がよりワールドワイドに拡大就航し、地域の企業の望まれる路線が24時間を通じて効率的、緊密かつ適切なコストで提供される航空物流ネットワークの更なる構築が不可欠であります。

このような課題を受け、関西の産学官で組織する国際物流戦略チームでは、昨年引き続き、関西企業が必要とする関西国際空港の貨物便路線に関するニーズ調査を行い、今般その結果を取りまとめましたので下記のとおり発表いたします。

1. 調査期間
平成22年8月9日～9月7日
2. 調査対象
関西に生産拠点を有する主要企業・物流拠点を有する主要企業等
3. 回答企業数
117社(荷主企業78社、物流企業39社)
4. 調査結果
別紙のとおり

本件のお問い合わせ先：

関西国際空港株式会社 航空営業部

笹部・明野 TEL 072-455-2038

○調査結果（概要）

1. 【方面別ニーズ・ご要望の結果】

- ・ 欧米方面への就航・増便の要望が全体の約半数。次いで中国、アジア方面への要望が続く。
- ・ 北米、欧州、アジア方面いずれも全体の約 8 割が出発便の要望。
- ・ ネットワーク強化を望む背景に関空の利便性を利用者自らも高めたいとの声もある。
- ・ 全体で総重量年間約 19 万トンのご要望があった。

2. 【空港発着時間帯別・ご要望の結果】

- ・ 深夜早朝時間帯（23:00～05:59）の要望が全体の約半数（45%）を占める。
- ・ 深夜・早朝貨物便と言った、24 時間空港のメリットを活かした路線への要望が多い。

3. 【方面別、空港発着時間帯別・ご要望の結果】

- ・ ほぼ全世界の地域において深夜早朝時間帯における発着が要望されている。
- ・ 次いで、北米では早朝昼間時間帯（06:00～11:59）、欧州では夜間深夜時間帯（18:00～23:59）、中国では早朝昼間時間帯の要望が多い。

4. 【都市別・ご要望の結果】

（北米方面）

- ・ 深夜早朝時間帯、全時間帯共にシカゴ、ロサンゼルス、ニューヨーク、アトランタの順に要望が多い。特に未就航都市であるシカゴ、ニューヨークへの直行便及び経由便の要望が多い。
- ・ 西岸部ではサンフランシスコやシアトル、中央部ではダラスやデトロイト、東岸部ではマイアミなどの要望が存在する。
- ・ 深夜早朝・早朝昼間時間帯を合わせると全体の 6 割以上の要望が集中している。
- ・ 北米方面には 19 都市、年間約 32,000 トンの要望があった。

（欧州方面）

- ・ 全時間帯、深夜早朝時間帯共にフランクフルト、アムステルダム、パリ、ミラノへの要望が多い。
- ・ フランクフルトとアムステルダムは全体的に要望が多く、特に深夜早朝時間帯の要望は 5 割を超える。
- ・ 欧州方面には 21 都市、年間約 55,000 トンの要望があった。

（中国方面）

- ・ 時間帯を問わず上海への要望が最も多く、次に多い香港と合わせると全体の 8 割以上の要望数。
- ・ 深夜早朝、次いで早朝昼間時間帯の要望が多く、両時間帯を合わせると全体の 7 割越の要望数。
- ・ 中国方面には 10 都市、年間約 78,000 トンの要望があった。

（東南アジア方面）

- ・ バンコクへの要望が最も多く、次いでシンガポール、クアラルンプール、ジャカルタが多い。
- ・ 深夜早朝、次いで早朝昼間時間帯の要望が多く、両時間を合わせると全体の 7 割を超える。
- ・ 東南アジア方面へは 11 都市、年間約 18,000 トンの要望があった。

（東アジア方面）

- ・ 台北、ソウルの他、高雄、釜山への要望が存在している。
- ・ 深夜早朝時間帯を要望する要望が半数を超え、早朝昼間時間帯と合わせて全体の約 8 割を占める。
- ・ 東アジア方面へは 4 都市、年間約 8,000 トンの要望があった。

（その他方面）

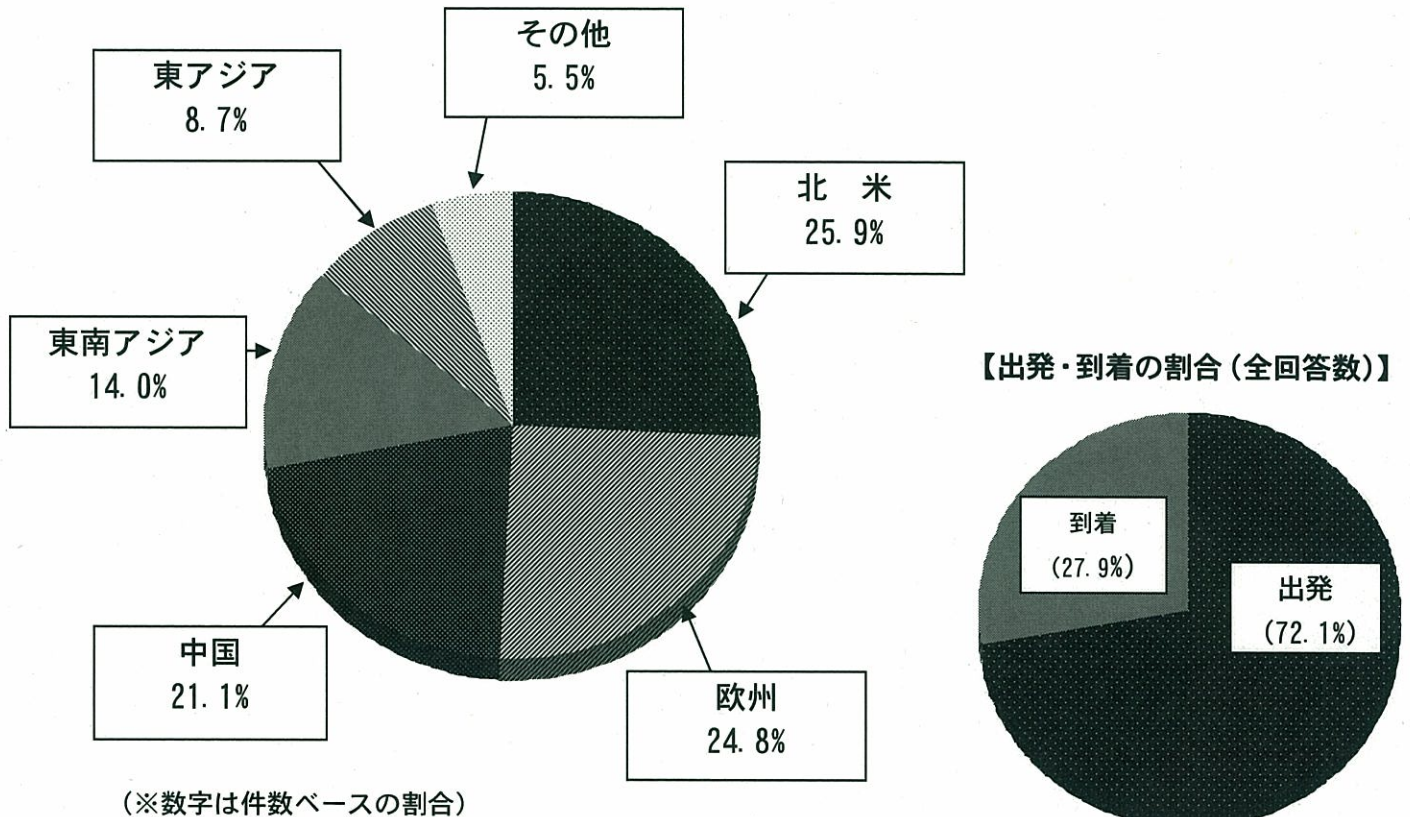
- ・ チェンナイ、ニューデリーといった今後の成長が期待されるインドへの要望が多い。

5. 【航空物流動向の 2010 年度後半以降の見通し・回答結果】

- ・ 全体の約 8 割の企業が前年並みの見通しから増加の見通しであると回答。

1. 【方面別ニーズ・ご要望の結果】

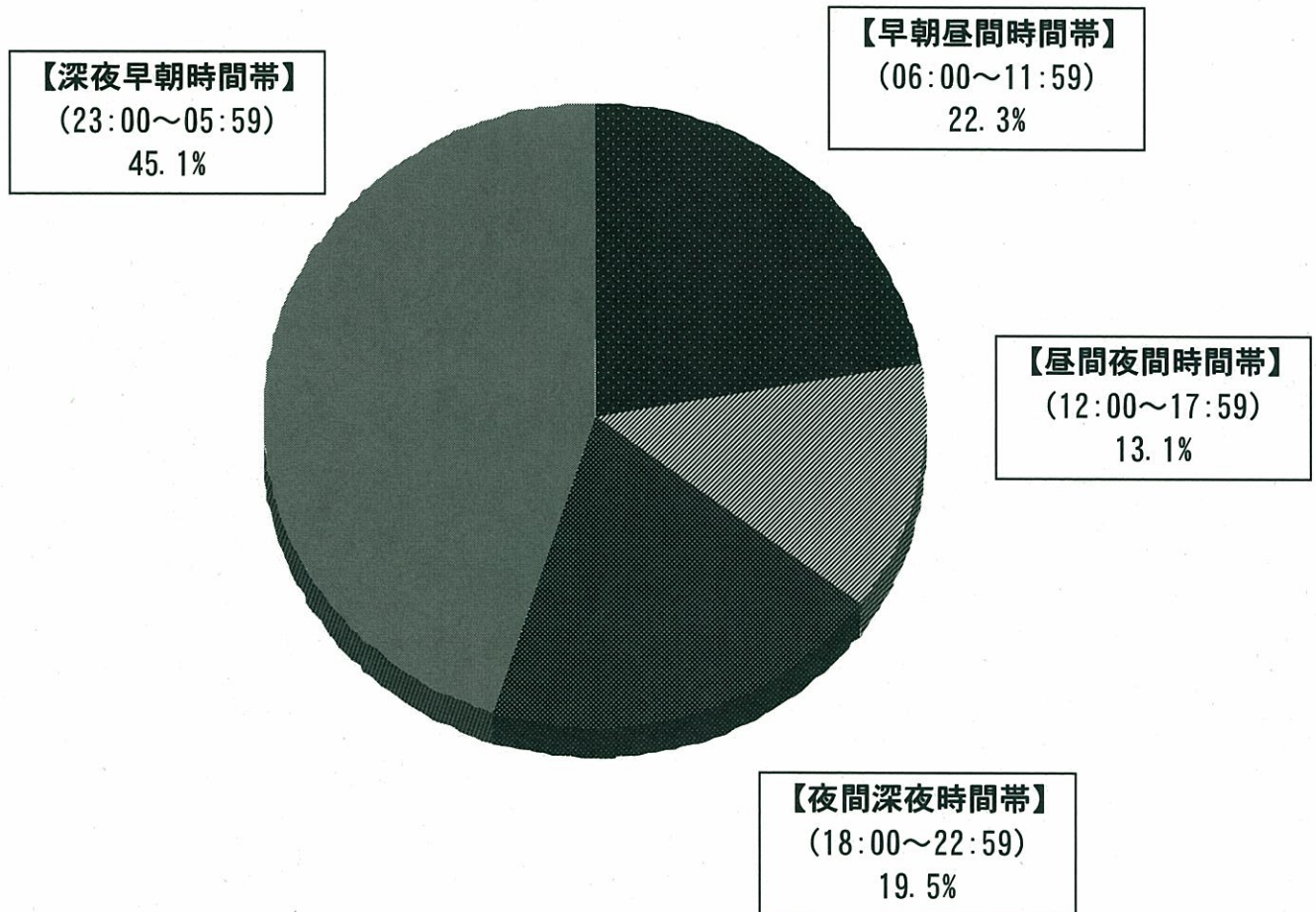
昨年度同様、関空から欧米方面への就航・増便要望がほぼ半数を占め、次いで中国、東南アジアなどアジア方面へのニーズが存在。



- ・ 北米、欧州方面共に出発便の要望が多く（前回同様）、アジア方面に向けても出発便の要望が多く寄せられた。
- ・ 成田・羽田へのシフトを懸念するものの今後もアジアのみならず北米・欧州におけるネットワークの強化を望む背景に顧客に関空の利便性を訴えたいとの声も寄せられている。

2. 【空港発着時間帯別・ご要望の結果】

最も要望数が多い時間帯は深夜早朝時間帯（23:00～05:59）までの運航を希望するものであり、ほぼ全体の半数を占める。次いで早朝昼間時間帯（06:00～11:59）、夜間深夜時間帯（18:00～22:59）、そして昼間夜間時間帯（12:00～17:59）の要望数が多い順となった。



(ご意見)

- ・ 深夜のフレイターを増便して欲しい。
- ・ 欧米、アジア以外にも関空到着が早朝着となる路線を拡大して欲しい。
- ・ 欧米・アジア路線の早朝時間帯、深夜時間帯を中心に航空貨物スペースの拡大を希望。
- ・ 24時間空港としてのメリットが出る貨物便の便数を増やして欲しい。

3. 【都市別・ご要望の結果】

① 【方面別：北米】

北米への路線については深夜早朝・早朝昼間時間帯を合わせると6割以上の要望が集中する結果となった。行き先別では、深夜早朝時間帯、全時間帯共にシカゴ、ロサンゼルス、ニューヨークの順位となっており、特に未就航都市であるシカゴ、ニューヨークへの要望が多く寄せられる結果となった。

また、北米方面全体では年間約32,000トンの要望があった。

(ご意見)

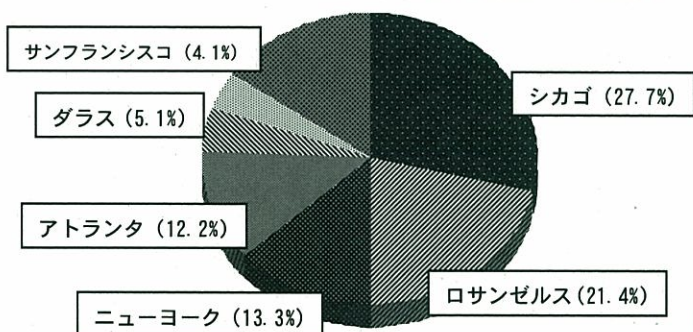
- ・シカゴ・ダラス向けの直行便で早く安ければ利用の可能性が高い。
- ・北米・南米線の貨物便の就航を実現させて欲しい。
- ・関空を中継地とした、アジア→関空→欧米向け貨物便を拡充して欲しい。
- ・特にニューヨーク向けは直行便、経由便ともに増やして欲しい。

〔Ⅰ. 北米方面へのご要望結果〕

(※数字は件数ベースの割合)

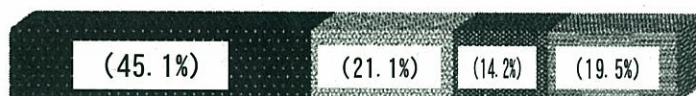
【要望都市数 19 都市】 ※数字は要望件数

シカゴ	28	ロサンゼルス	21	ニューヨーク	13
アトランタ	12	ダラス	5	サンフランシスコ	4
ソルトレイク、テイロン	各2				
マイアミ、シアトル、デトロイト、ヒューストン、インディアナポリス、フィラデルフィア、ホルティモア、メンフィス、ルイビル、ミネアポリス、トロント	各1				



〔Ⅱ. 北米方面への時間帯別ご要望結果〕

【23:00~05:59】 【06:00~11:59】 【12:00~17:59】 【18:00~22:59】



② 【方面別：欧州】

欧州方面では、深夜早朝並びに夜間深夜時間帯への要望が強く、両時間帯を合わせた要望数は全体の7割を占めることとなった。フランクフルト、アムステルダムは全体、深夜早朝時間帯共に要望が強い結果となったが、深夜早朝時間帯ではロンドンへの就航を望む声が存在した。また、欧州方面全体では年間約55,000トンの要望があった。

(ご意見)

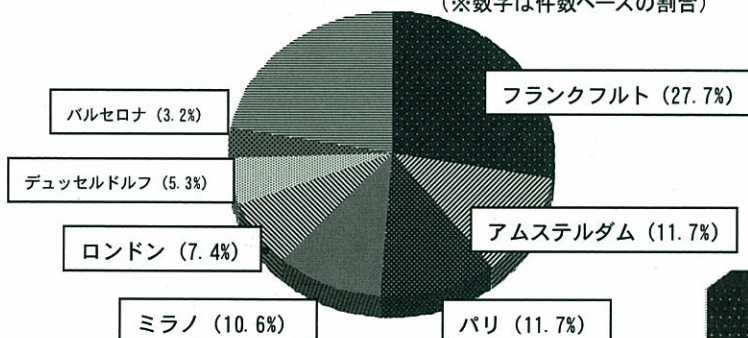
- ・欧州向けは直行便、経由便ともに増やして欲しい。
- ・2010年夏スケジュール以降に新規就航、増便した欧州路線は顧客に好評であった。
- ・欧米方面へはフライトが多い成田空港へ転送しているため余計なコストがかかるので困っている。

〔Ⅰ. 欧州方面へのご要望結果〕

(※数字は件数ベースの割合)

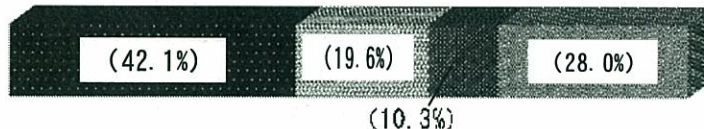
【要望都市数 21 都市】 ※数字は要望件数

フランクフルト	26	アムステルダム、パリ	各11	ミラノ	10
ロンドン	7	デュッセルドルフ	5	ハルゼホフ、ブリュッセル、(ドイツ)	各3
リール、(スイス)、(スロバキア)	各2				
ベルリン、マドリード、イスタンブール、グラスゴー、マンチェスター、ストックホルム、ベローナ、(ルクセンブルグ)、(ポーランド)	各1				



〔Ⅱ. 欧州方面への時間帯別ご要望結果〕

【23:00~05:59】 【06:00~11:59】 【12:00~17:59】 【18:00~22:59】



③【方面別：中国】

時間帯別では、深夜早朝、次いで早朝昼間時間帯の要望が多く、両時間帯を合わせた要望数は全体の7割を超える結果となった。時間帯を問わず、都市別では上海への要望が最も多く、次いで香港となり、両都市を合計すると8割以上の要望が集中することとなった。

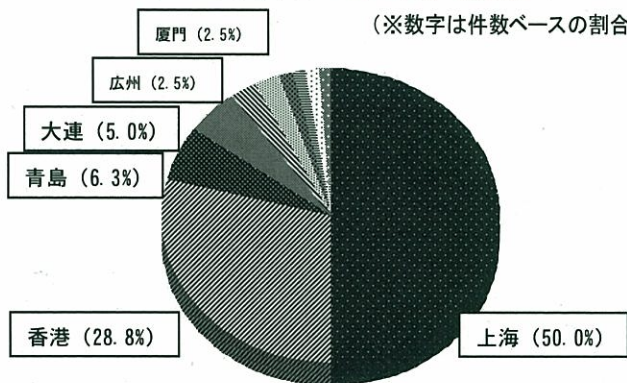
また、中国方面全体では年間約78,000トンの要望があった。

(ご意見)

- ・ 輸送スペースの供給不足が心配。増便等、輸送スペースを確保して欲しい。

〔Ⅰ. 中国方面へのご要望結果〕

(※数字は件数ベースの割合)

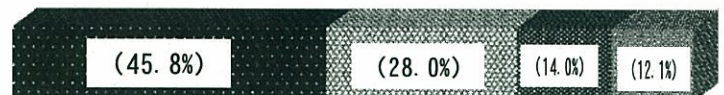


【要望都市数 10 都市】 ※数字は要望件数

上海	40	香港	23	青島	5
大連	4	広州、廈門	各2		
無錫、天津、瀋陽、寧波					各1

〔Ⅱ. 中国方面への時間帯別ご要望結果〕

【23:00~05:59】 【06:00~11:59】 【12:00~17:59】 【18:00~22:59】



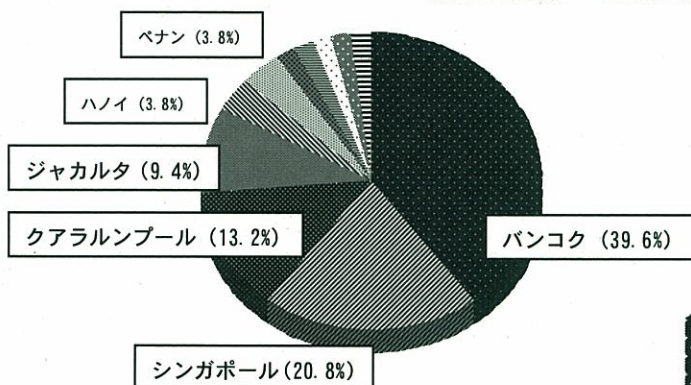
④方面別：東南アジア

東南アジア方面においては、時間帯別では深夜早朝、次いで早朝昼間時間帯の路線に対する要望が強く、両時間を合わせた要望数は全体の7割を超えることとなった。都市別では、バンコクが最も多く要望が寄せられており、次いでシンガポール、クアラルンプール、ジャカルタと続く結果となった。

また、東南アジア方面全体では年間約18,000トンの要望があった。

〔Ⅰ. 東南アジア方面へのご要望結果〕

(※数字は件数ベースの割合)

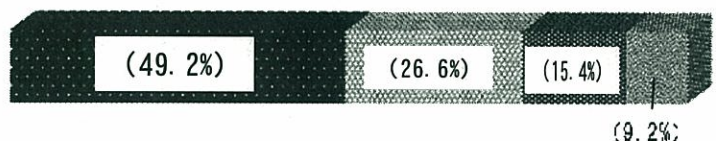


【要望都市数 11 都市】 ※数字は要望件数

バンコク	21	シンガポール	11	クアラルンプール	7
ジャカルタ	5	ハノイ、ベナン	各2		
マニラ、ホーチミン、ヤンゴン、ダハオ、ケーブトニー					各1

〔Ⅱ. 東南アジア方面への時間帯別ご要望結果〕

【23:00~05:59】 【06:00~11:59】 【12:00~17:59】 【18:00~22:59】



⑤方面別：東アジア

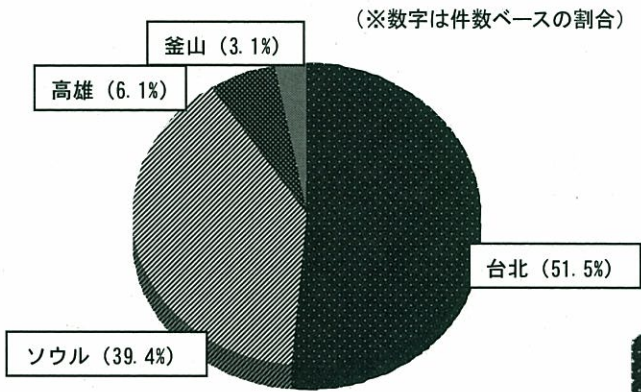
東アジア方面においては、時間帯別では深夜早朝時間帯を要望する声が半数を超えた。次いで早朝昼間時間帯の路線に対する要望が強く、両時間帯を合わせた要望数で全体の8割に迫った。都市別では、台北、ソウル（仁川）への要望の他、高雄、釜山を望む声もあった。

また、東アジア方面全体では年間約7,700トンの要望があった。

（ご意見）

- ・輸送スペースの供給不足により、ますます輸送スペースが取りづらくなる状況が予想されており、直行便・経路便共に増便を希望。
- ・モンゴル・ウランバートル向けの貨物便就航を希望。

〔Ⅰ. 東アジア方面へのご要望結果〕



【要望都市数 4都市】 ※数字は要望件数

台北	17	ソウル	13
高雄	2	釜山	1

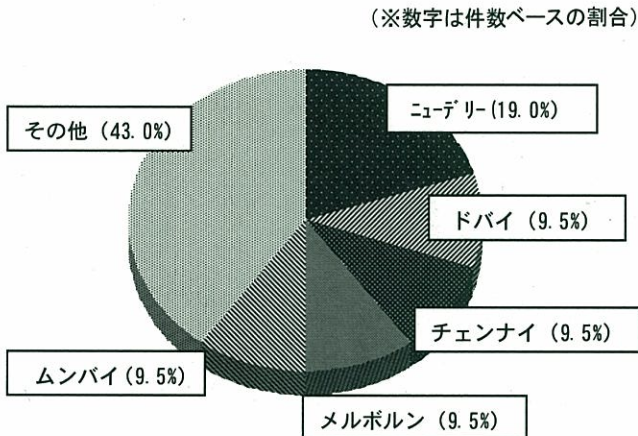
〔Ⅱ. 東アジア方面への時間帯別ご要望結果〕



⑥方面別：その他

その他方面の時間帯別では、夜間深夜時間帯に対する要望が半数を超え、次いで深夜早朝時間帯への要望が多い。都市別では、チェンナイ、ニューデリー、ムンバイといった今後の成長が期待されるインドへの要望の他、メキシコシティ、サンパウロといった中南米や、シドニー、メルボルンといったオーストラリアへの要望があった。

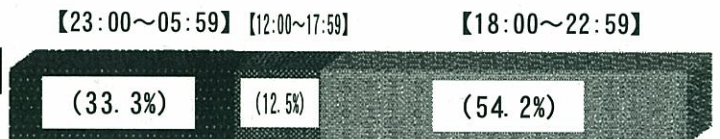
〔Ⅰ. その他方面へのご要望結果〕



【要望都市数 14都市】 ※数字は要望件数

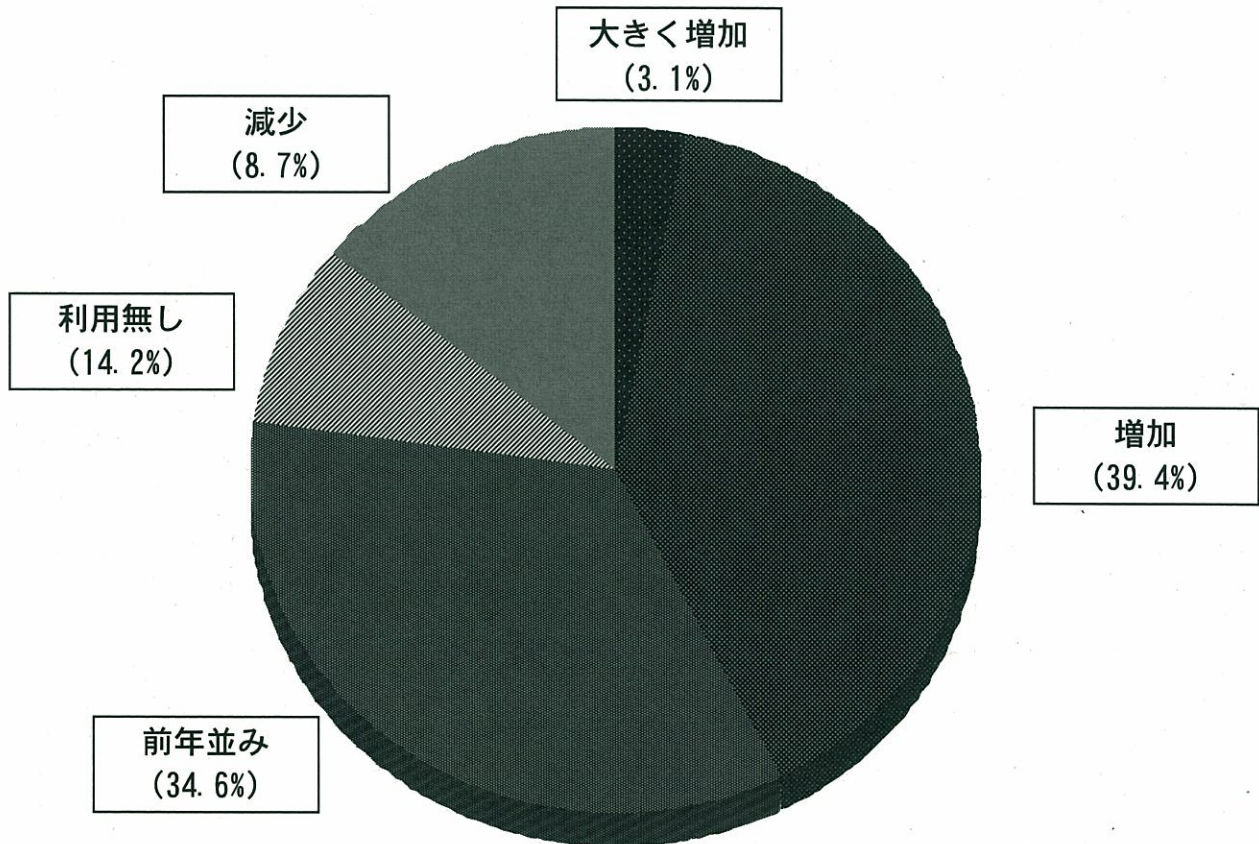
ニューデリー	4	ドバイ、チェンナイ、ムンバイ、メルボルン	各2
メキシコシティ、サンパウロ、サンファン、シドニー、アデレード、ブリスベン、ジェダ、ポートモレスビー			各1

〔Ⅱ. その他方面への時間帯別ご要望結果〕



4. 航空物流動向の 2010 年度後半以降の見通し・回答結果

- ・ 2010 年度下期以降の航空物流の見通しとしては、「大きく増加」、「増加」の見込みであると回答した物流企業が合わせて全体の 4 割以上を占め、「減少」見込みであると回答した物流企業は全体の 1 割に満たない結果となった。
- ・ 前年並みの見通しから増加の見通しであると回答した物流企業は合わせて全体の約 8 割に届く回答結果となった。



今年度下期見込み	
大きく増加	3.1%
増加	39.4%
前年並み	34.6%
減少	8.7%
大きく減少	0.0%
利用なし	14.2%

5. その他ご意見・ご要望（※重複する回答をまとめた上、代表的な回答を記載しております）

○ 関空の貨物便ネットワークに対するご意見

- ・ 欧米向けのダイレクト便を希望する。
- ・ 貨物便に限らず、旅客便も含めて路線を拡大して欲しい。
- ・ 日系エアラインによる欧米向け路線の積極的な拡大をして欲しい。
- ・ シアトル便の出発時間を午前発もしくは深夜発にして欲しい。
- ・ 小型の貨物機では輸入においてはスペース確保が非常に厳しいため大型機材の運航を希望。大型の貨物でも対応できる B747-400F、B777F クラスが就航して欲しい。
- ・ スケジュールは毎日運航して欲しい。
- ・ 便数や仕向国が減少しており、タイムリーな出荷が出来ない場合があって大変残念。
- ・ 航空会社の負担を軽減（着陸料減免等）することにより、路線網を再度構築して欲しい。
- ・ 九州・中京圏の貨物も含めて今後関空に大きな期待を寄せている。
- ・ 福岡、名古屋への関空を中心とした陸上輸送サービスの提供が得られれば有り難い。

○ サービスに関するご意見

- ・ 通関手続き等の簡略化・迅速化を促進して欲しい。
- ・ 輸入貨物において、到着から搬入確認までの時間を極力短縮して欲しい。
- ・ 上屋会社のピーク時の貨物処理能力を向上して欲しい。
- ・ 貨物の受入を 24 時間体制で行って欲しい。
- ・ 輸入上屋の料金について、利便性の向上、保管料のフリータイムを延長して欲しい。
- ・ 温度管理が必要な貨物については速やかな定温倉庫への搬入をお願いしたい。
- ・ 上屋から航空機への積み込みまでの時間を短縮するなど工夫して欲しい。

○ 施設、アクセス面に対するご意見

- ・ 関西国際空港の発展と利便性向上が日本の国際物流の発展にとって不可欠である。
- ・ 他空港より魅力あるものにする取り組みを深度化する必要がある。
- ・ 関西空港から和歌山県への陸運を強化して欲しい。

○ 高コスト・料金等に対するご意見

- ・ 航空会社を横断した貨物便の融通で効率化とコストダウンを図って欲しい。
- ・ 航空料金のダウンにつながるような取り組みをして欲しい。
- ・ 貨物便の減便により運賃が高騰する事を懸念する。
- ・ アジアのハブ空港として、新規就航・増便し易い環境を構築して欲しい。
- ・ 利用料の更なる競争力アップ。
- ・ 連絡橋利用料金の更なる値下げ又は無償化。

貨物便就航路線ニーズ・ご要望調査 ご回答企業名（※）

（50音順）

※企業名の公表をご承諾いただきました企業様のみを掲載しております。

アートコーポレーション(株)、旭化成せんい(株)、アサヒビール(株)、(株)アシックス、アストラゼネカ(株)、アツジ工業所、伊藤忠ロジスティクス(株)、ANA ロジスティクスサービス(株)、NI 帝人商事(株)、オンキヨー(株)、(株)カルディオ、グラス・ファイバー工研(株)、(株)クラレ、黒田電気(株)、ケイヒン航空(株)、ケイラインロジスティクス(株)、(株)KSA インターナショナル、鴻池運輸(株)、コクサイエアロマリン(株)、三善(株)、三洋電機(株)、島研摩機材(株)、(株)島精機製作所、(株)島津製作所、シャープ(株)、シャープトレーディング(株)、住友金属工業(株)、住友金属物流(株)、西濃シェンカー(株)、センチュリー山久(株)、ダイキン工業(株)、大日本スクリーン製造(株)、タツタ電線(株)、田辺三菱製薬(株)、(株)テツタニ、東亜バルブエンジニアリング(株)、長田通商(株)、西日本鉄道(株)、(株)日新、日新電機(株)、(株)日本エーエムシー、(株)日本触媒、パナソニック(株)、(株)阪急阪神エクスプレス、(株)バンテック、阪和興業(株)、(株)フセラシ、プラスカーゴサービス(株)、(株)堀場製作所、丸紅物流(株)、三井化学(株)、三菱レイヨン(株)、村田機械(株)、(株)村田製作所、(株)メタルワン、(株)ユニックス、(株)淀川製鋼所、レンゴー(株)

公表可	58社
ほか	59社
計	117社

以上